

## 参考 5

共通能力（社会人基礎力、現場の基礎、現場の運営）

## ●共通能力●（汎用データ）

部門ではないものの、全ての従業員に共通して必要とされる能力を整理した。職務から作業と同じように整理すると次の一覧のようになる。図表 2-17 に示す。専門的な知識・技能ではないため、具体的な内容については概略のみを示す。

図表 共通能力に関する動作のポイント

部門	求められる能力	能力要素	レベル	能力要素の細目
共通	社会人基礎力	前に踏み出す力	1	主体性
				働きかけ力
				実行力
		考えぬく力	1	課題発見力
				計画力
				創造力
		チームで働く力	1	発信力
				傾聴力
				柔軟性
	状況把握力			
	規律性			
	ストレスコントロール力			
現場の基礎	体力・健康管理	1	体力・健康管理	
	現場の基礎	1	仕事に対する姿勢 コミュニケーション	
現場の運営	チーム運営	2	リーダーシップ マネジメント能力、組織運営力	
	部下育成	3	指導力 現場での人材育成(OJT)	

### ◆社会人基礎力

「社会人基礎力」は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」である。

「前に踏み出す力」、「考えぬく力」、「チームで働く力」で構成される。これらは、社会人として仕事をしていくために最低限身につけておくべき基礎的な力である。

### ◆現場の基礎

「現場の基礎」は、社会人として踏み出した方が、建設業で働くために特に必要な基礎的な力である。

事務部門から現場の施工部門まで共通して最も基礎的な要素は「体力・健康管理」であり、特に建設現場では安全に作業を行うため必要不可欠である。

そして、現場においてチームで仕事をしていく上で必要な、仕事に対する姿勢やコミュニケーションについて「現場の基礎」として整理した。

### ◆現場の運営

「現場の運営」は、現場のリーダーとなりチームをまとめていくための「チーム運営」と、現場での指導・育成を行う「部下育成」で整理した。

部門	求められる能力	能力要素	レベル	能力要素の細目	作業に必要な主な知識及び技能・技術 (主な動作とポイント)
共通	社会人基礎力	前に踏み出す力	1	主体性	物事に進んで取り組むことができる
					自分で考えて作業を進めることができる
					「できません」と言わずに取り組むことができる
				働きかけ力	自分からすすんで動くことができる
					他人に働きかけ巻き込むことができる
					積極的にチーム作業に従事することができる
					まわりと助け合って取り組むことができる
				実行力	確認や質問をしながら活動を行うことができる
					目的を設定し確実に行動することができる
		自分の意見を提案することができる			
		自立的に活動に取り組むことができる			
		考えぬく力	1	課題発見力	目的をよく考えて行動することができる
					現状を分析し目的や課題を明らかにできる
					必要な情報と必要ではない情報をきちんと区別できる
			計画力	プロセスを自ら考え、実行できる	
				確認や見直しを行い、ケアレスミス未然に防ぐことができる	
				課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備することができる	
			創造力	問題点を整理して行動できる	
				重要となるポイントを優先して行動できる	
				事前に計画を立てて、期限内に完成できる	
		チームで働く力	1	発信力	新しい価値を生み出すことができる
業務の目的に沿って、創造的に成果物の作成ができる					
参考文献や関連する資料から新しい成果物の作成ができる					
比較や分析だけでなく、自分の考察を交えて成果物の作成ができる					
傾聴力	自分の意見をわかりやすく伝えることができる				
	発表時において、論点を整理してわかりやすい説明ができる				
	必要な情報を伝えることができる				
	報告連絡相談をすることができる				
柔軟性	相手の意見を丁寧に聴くことができる				
	ほかの人から必要な情報を引き出せる				
	相手が言いたいことをしっかり把握できる				
	自分と異なる意見をよく聴くことができる				
状況把握力	意見の違いや立場を理解することができる				
	相手の立場に立って考えることができる				
	状況に応じさまざまな異なる方法で対応ができる				
	異なる文化の思考方法、習慣の違いなどに対応ができる				
規律性	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解することができる				
	自分の役割を十分理解して取り組むことができる				
	自分の良さを把握し、自分の役割分担を理解している				
	他の人の良さを引出し、チーム全体を考え行動できる				
	社会のルールや人との約束を守ることができる				

				<p>授業や活動時間の使い方の自己管理ができる</p> <p>決められた期限を守ることができる</p> <p>社会的なルール、マナーを守って行動ができる</p>
			ストレスコントロール	<p>ストレスの発生源に対応することができる</p> <p>大変な時、仲間の協力などにより、乗り越えようと努力ができる</p> <p>疲れている時や、気持ちが沈んでいる時でも、前向きに仕事に臨むことができる</p> <p>自分で感情のコントロールができる</p>
現場の基礎	体力・健康管理	1	体力・健康管理	<p>仕事に支障が出ないよう体力・健康管理ができる</p> <p>常に体調を良好な状態に維持できる</p> <p>健康診断等の重要性を知っている</p> <p>重量物運搬や高所作業など、作業環境に適応する体力と気力をもっている</p>
	現場の基礎	1	仕事に対する姿勢	<p>専門的知識と倫理観を持って仕事に臨むことができる</p> <p>作業に必要な基本的な用語や名称等を知っている</p> <p>施工図等の読み取り方を知っている</p> <p>基礎的な計算や単位の換算ができる</p> <p>知識や技能を高める努力ができる</p> <p>環境の変化に合わせて、知識や技能を新たに取入れすることができる</p> <p>工事終了後に成功例や失敗例を整理することができる</p> <p>現場の規律を守ることができる</p> <p>作業性の良い、安全で清潔な服装ができる</p> <p>始業時間や休憩時間をきちんと守ることができる</p> <p>ゴミの始末ができる</p> <p>喫煙ルールを守ることができる</p> <p>携帯電話、ラジオ、音楽などの嗜好は節度を持って利用ができる</p> <p>現場や工具などの整理整頓ができる</p>
			コミュニケーション	<p>チームワークによる相互協力ができる</p> <p>お互いに協力し合って、作業者同士の良好な関係を保つことができる</p> <p>報告・連絡・相談の実施方法を知っている</p> <p>わかりやすい文字や文章を書くことができる</p> <p>指示される前に、次の作業の段取り等について事前に聞くことができる</p> <p>他の作業者等との休憩中の話の輪や雑談等に加わることができる</p> <p>他の作業者等と話し合ったり、悩みを聞いたりアドバイスをしたりできる</p> <p>顧客（施主・元請け）、他職種、近隣等とのコミュニケーションができる</p> <p>現場関係者等に明るく挨拶ができる</p> <p>現場関係者や近隣関係者等に自発的に挨拶ができる</p> <p>現場で一緒になる他の職種と、お互いに連絡を取り合いながら協力し合うことができる</p> <p>安全上の注意などを現場関係者等に伝えることができる</p>
現場の運営	チーム運営	2	リーダーシップ	<p>各人の意思を統一し課題完結に向け先頭に立って行動できる</p>

				役割配置による作業量に偏りなく、またその調整ができる 協調性のある行動ができる 個々人の特性（能力・性格）を把握した上での役割配置ができる
			マネジメント能力、組織運営力	メンバー個々人の能力を発揮し、課題完結に向け取り組みができる チームの実行力を高め、活性化を図れる役割分担、実行計画ができる 同じ過ちを繰り返さないように真因を究明して取り組むことができる 所要時間を予測しながらスケジュール管理ができる
	部下育成	3	指導力	自立と自律をこころがけチームの模範となる行動ができる 課題実施が確実かつ円滑に進むよう能力、ノウハウ、技術を相互伝授し、仲間の戦力アップに繋がる指導ができる
			現場での人材育成(OJT)	OJTの目標を決めることができる 何のために「教えるのか」(目的)を知っている 誰のために「教えるのか」(利益享受者)を知っている どのような状態にするのか(期待成果)を知っている 部下指導の仕方を知っている 部下育成の目標(どのような状態、どのようなレベル)を知っている OJTの効果(どうなったのか)の確認の仕方を知っている 指導結果(どこが問題か)を次に反映する方法を知っている 自分のスキルの伝授ができる 他者の範となるように行動で示すことができる やって見せてやらせてみて指導ができる 部下を育てるための仕事(課題)の割り振り方を知っている 仕事ぶりの良さや姿勢の評価する点、見るべき点を知っている 部下の評価ができる メンバー一人ひとりの力量を把握できる 仕事のミスやルーズさはきちんと叱ることができる メンバーからの相談を前向きに受け止めて助言ができる

資料シリーズ No. 67

型枠工事業における「職業能力の体系」の整備等に関する調査研究

---

発行 2016年3月

発行者 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

職業能力開発総合大学校 基盤整備センター

所長 山口 紀博

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1

電話 042-348-5075（普及促進課）

印刷 株式会社旭クリエイト

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町51-1 読売横浜ビル2F

電話 045-319-4980

---

本書の著作権は独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が有しております。